

平成 26 年度事業ならびに活動報告

1. 事業活動概況

平成 26 年度の活動計画にもとづき、産業に係わる安全の諸問題を広く工学的に調査・研究し、各種災害の防止のための知識・技術の向上及び普及を図った。

研究・教育事業では例年開催している研究発表会を 12 月 3・4 日に（独）産業技術総合研究所の共用講堂で開催し、例年並みの 207 名の参加があった。オーガナイドセッションのアラームマネジメント、産業界団体における保安向上の取り組みは好評を博した。また、2014 年 6 月 8-10 日に岡山コンベンションセンターにて第 5 回 World Conference on the safety of Oil and Gas industry 2014 を開催し、東南アジアを中心に 11 か国 220 名が参加した。

普及啓発一般事業では、例年と同様、会誌“安全工学”を発行し、各種講習会セミナーを開催した。論文投稿者は昨年少し多かったが今年は 6 件と例年並みに低迷した。安全工学セミナー参加者は物質危険に関する講座は低迷傾向が続いているが、プラント安全、安全マネジメント関係は多数の参加があった。実験講座は、爆発状況が体験できることから例年参加者は多く、今年度も募集定員を超えた。災害事例研究会は企業の要望が高く、福島事故、化学災害事故教訓・設備安全を取り上げたが参加者は今ひとつであった。地域・企業に講師を派遣する支援セミナーは 3 地区・団体向けに実施。1 団体に講師を紹介した。

普及啓発事業において、「保安力向上センター」は設立 2 年目に入り、支援会員が 2 社増え、計 21 社となり、6 月から設立した普及会員には 4 社が入会した。支援会員へのセンター評価は 14 社 14 事業所で実施。この他、有償のセンター評価を 4 社 4 事業所で実施した。今後会員増が見込まれる。評価システムの拡充として、重点版評価システム、加工版評価システム、製鉄所版評価システムについて検討構築した。

経済産業省保安課より昨年に続き、平成 26 年 7 月「平成 26 年度現場保安力維持向上基盤強化事業（現場保安力維持・向上に向けた調査・分析）」に関する委託を受け、現場保安力の概念、現場保安力マトリックスの整備、石油・石化企業を中心に他分野を含め 34 事業所への良好事例ヒヤリング、158 事業所へのアンケートを行い、調査を行った。調査結果は、経済産業省主催で、現場保安力検討成果報告会を開催し 108 人が参加した。報告書は 3 月 6 日提出した。

安全工学会の会員は法人会員 85 社とほぼ横並び、普通会员は 600 人と減少傾向が継続している。企業退職者の退会が目立つ。

2. 特定非営利活動に係る事業

2.1 安全工学に関する研究・教育事業

(1) 第 47 回安全工学研究発表会

開催日時：平成 26 年 12 月 3 日（木）、4 日（金）

実施場所：（独）産業技術総合研究所 共用講堂（つくば市）

参加者：207 名

一般講演：15 セッション 55 件

OS 講演：2 タイトル 9 件

特別講演：2 件

技術展示協賛：12 件

ポスター協賛：8 件

(2) WCOGI 2014（第 5 回 World Conference on the safety of Oil and Gas Industry）

開催日時：平成 26 年 6 月 8 日（日）～10 日（火）

実施場所：岡山コンベンションセンター

参加者：220 名（含スタッフ）。このうち海外参加者は中国・韓国をはじめとして 11 カ国、54 名。

講演発表：口頭発表 80 名、ポスター発表 28 名

招待講演：15 名

基本協賛：18 社

展示協賛：10 社

ポスター協賛：8 社

その他看板協賛：5 社

(3) 研究・教育事業管理

①学術委員会

研究発表会の結果反省、準備等 1 回実施

②安全工学研究発表実行委員会

研究発表会に向け 2 回実施

③WCOGI 2014 実行委員会

IPC 委員会 1 回、その他事務打ち合わせ実施。

④医療安全研究会

6 回の研究会を練馬総合病院などで開催

⑤廃棄物安全研究会

今年度は休止

⑥次世代安全研究会

1 回の研究会をアロマビル会議室にて開催

⑦プロセスケミストリー標準モデルWG

4 回 三井化学会議室、東京農工大会議室で開催

2.2 安全工学に関する普及啓発事業

2.2.1 一般普及事業

(1) 会誌発行“安全工学”（Vol. 53, No. 2～Vol. 54, No. 1）

平成 26 年 4 月、6 月、8 月、10 月、12 月、平成 27 年 2 月発行

特集：次世代エネルギーの現状と安全性 Vol. 53, No. 6

(2) 講習会・セミナー

①第 36 回安全工学セミナー

開催場所：化学会館又は砂防会館 会議室

A. 物質危険性講座

開催日：平成 26 年 9 月 9 日（火）、10 日（水）

参加者：12 名

講 師：新井充氏、鶴田俊氏、松永猛裕氏、田中則章氏

B. 危険現象講座

開催日：平成 26 年 10 月 9 日（木）、10 日（金）

参加者：13 名

講 師：土橋律氏、山隈瑞樹氏、三宅淳巳氏、若倉正英氏

C. プラント安全講座

開催日：平成 26 年 11 月 12 日（水）、13 日（木）

参加者：30 名

講 師：島田行恭氏、角田浩氏、高木伸夫氏、二宮光良氏、
佐藤吉信氏、菊池武史氏、

D. 安全マネジメント講座

開催日：平成 27 年 1 月 14 日（水）、15 日（木）

参加者：24 名

講 師：野口和彦氏、半田安氏、梅崎重夫氏、臼井修氏、酒井一博氏、
小川輝繁氏

② 安全工学地域セミナー

開催日：平成 27 年 2 月 17 日（火）

開催場所：下関三井化学（株）会議室 （下関市）

参加者：30 名

講 師：鈴木和彦氏、勢登俊明氏、大石淳三氏

内 容：講演の他、下関三井化学 NF3 プラント見学

③ 第 13 回安全工学実験講座

場 所：日本カーリット（株）危険性評価試験所

開催日：平成 26 年 6 月 2 日（月）、3 日（火）

参加者：24 名

講 師：（有）PHA コンサルティング 飯塚義明氏
日本カーリット（株） 鈴木康弘氏

内 容：安全工学関連物性評価試験、過去の事故事例を参考にしたモデル実験、

④ 第 28 回安全管理の最新動向講習会

開催日：平成 26 年 4 月 22 日（火）、23 日（水）

場 所：化学会館

参加者：14 名

内 容：化学産業のリスクベース安全とその方策
航空会社における安全管理の最新動向

高木伸夫氏
田中龍郎氏

鉄道におけるヒューマンファクターと安全	楠神健氏
化学プラントの事故から学ぶ安全管理のポイント	中村昌允氏
事故防止のための安全文化の創造と実践	高野研一氏
建設現場の安全管理への取組に関する活動事例	須藤英明氏

⑤災害事例研究会

a) 第 47 回災害事例研究会

場 所：化学会館

開催日：平成 26 年 7 月 14 日（月）

参加者：21 名

内 容：福島原子力事故の反省と原子力改革プランの取り組み

傳田康貴氏

最近の化学事故の教訓

若倉正英氏

b) 第 48 回災害事例研究会

場 所：化学会館

開催日：平成 26 年 12 月 15 日（月）

参加者：14 名

内 容：プロセスの設備安全

岩田稔氏、清水健康氏

⑥地域・企業支援セミナー

a) 芳香族工業会大会

場 所：アロマビル芳香族工業会会議室

開催日：平成 26 年 9 月 9 日（火）

派遣講師：高野研一氏「事項防止に向けた安全文化の醸成
一事故を起こしにくい組織作り」

b) 千葉石油化学連合協議会講習会

場 所：五井会館

開催日：平成 26 年 9 月 12 日（金）

参加者：約 150 名（アンケート回収 104 名）

派遣講師：畑村洋太郎氏 「散發する化学事故をどう考えるか
～アクティブに働く思考回路を作れ～」

c) 丸善石油化学株式会社

場 所：丸善石油化学株式会社千葉工場

開催日：平成 27 年 3 月 4 日（水）

参加者：約 100 名（アンケート 62 名回収）

派遣講師：西晴樹氏 「大規模地震・津波への減災対策」

d) 講師紹介

・尼崎市消防局 紹介講師：野口和彦氏

(3) 安全懇談会

①工場長との安全検討会

・水島地区で現場部課長と学会関係者の懇談会

開催日：平成 26 年 10 月 27 日（月）

場所：JX 日鉱日石エネルギー（株）水島製油所

参加者：5 社（旭化成ケミカルズ(株)、JX 日鉱日石エネルギー(株)、三菱化学(株)、三菱ガス化学(株)、日本ゼオン(株))、学会側 5 名
・九州地区の工場長懇談会

開催日：平成 26 年 12 月 16 日（火）

場所：三菱化学（株）黒崎事業所

参加者：7 社 11 名（JNC（株）、昭和電工（株）、新日鐵住金化学（株）、住友化学（株）、電気化学工業（株）、三井化学（株）、三菱化学（株））、学会側 5 名

(4) 普及啓発事業管理

① 編集委員会

毎月（計 12 回）の編集委員会を開催。

② 普及委員会

4 回開催

③ 会誌電子化検討会

会誌の電子化について議論を開始

2.2.2 普及啓発事業：保安力向上センター関連事業

保安力向上センターは 2 年目を迎え、支援会員 2 社、普及会員 4 社が入会。支援会員のセンター評価を継続実施 14 社 14 事業所を終了。有償のセンター評価を 4 社 4 事業所にて実施。保安力評価システムの拡充として重点版評価システム、加工版評価システムを検討し、構築。

- | | |
|--------------------|-------|
| ① 保安力向上センター支援会員連絡会 | 1 回開催 |
| ② 保安力向上センター運営委員会 | 2 回開催 |
| ③ 保安力向上センター企画委員会 | 1 回開催 |
| ④ 保安力向上センター評価推進委員会 | 5 回開催 |
| ⑤ 普及グループ定例会議 | 2 回開催 |

2.2.3 普及啓発事業：受託事業

① 経済産業省保安課委託事業

「平成 26 年度現場保安力維持向上基盤強化事業（現場保安力維持・向上に向けた調査・分析）」

内容：現場保安力の概念、現場保安力マトリックスの整備（強化要素の整備、強化実施 47 項目の設定、重み付け）実施。強化実施項目に係わる考え方把握のためのアンケートを 158 事業所に実施、124 事業所から回収した。又、石油・石化企業を中心に他分野も含めて 34 事業所に良好事例などのヒヤリングを実施した。

*契約期間：平成 26 年 7 月 10 日～平成 27 年 3 月 6 日

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① 有識者検討会 | 3 回 |
| ② 検討調査ワーキング | 5 回 |
| ③ 事務連絡会 | 3 回 |
| ④ ヒヤリング調査（本社、事業所） | 34 件 |
| ⑤ アンケート（回収/配付）事業所 | 124/158 件 |
| 現場保安力検討成果報告会を開催 | 参加者 108 名 |

2.3 安全工学に関する調査及び情報収集提供事業

- ・安全工学に関する情報を提供のホームページ情報
随時ホームページ修正を行った。

2.4 安全工学研究の奨励及び研究活動等の表彰

安全工学に貢献した優秀論文、及び安全に関して学術・技術・啓蒙、本学の発展に貢献した功労者を選考した。又、研究発表会に於いてすぐれた発表をした若手研究者を選考した。

表彰式は総会で実施予定。(表彰者は別紙報告事項参照)

(1) 安全工学論文賞選考委員会

平成 27 年 3 月 18 日(水) (選考委員 5 名)

(2) 玉置功労賞、北川学術賞選考委員会

平成 27 年 3 月 16 日(月) (選考委員 6 名)

(3) 奨励賞選考 (学術委員会にて選考)

平成 27 年 2 月 23 日(月) (委員 7 名)

2.5 国内外の団体との連携及び協力

(1) 安全工学に関連する学協会に加入

(一社) 日本工学会、高圧ガス保安協会などに会員として加入

(2) 安全工学シンポジウム 2014 (第 44 回)

開催日時：平成 26 年 7 月 10 日 (木), 11 日 (金)

実施場所：建築会館

主 催：日本学術会議

幹事学会：日本建築学会

共 催：32 学協会

一般講演：44 件

OS 講演：12 題 71 件

特別講演：3 件

パネルディスカッション：1 パネル、5 講演

安全工学会参加セッション：

OS；産業安全の向上のための現場保安力の強化

座長：田村昌三氏、

発表者：田村昌三氏、若倉正英氏、村岡正章氏、竹田義信氏、
南川忠男氏

2.6 管理業務

(1) 総会 (1 回)

開催日：平成 26 年 5 月 27 日 (火)

開催場所：化学会館

出席者：委任状を含め 433 名

特別講演：「原子力 民間事故調の役割 化学・技術者の倫理」
(北澤宏一氏：東京都市大学学長)

(2) 理事会 (5 回)

平成 26 年 5 月 9 日 (金) 理事 11 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：平成 26 年度総会議決事項の審議（H25 年事業報告・決算報告、H26 年事業計画・予算、H26 年役員候補の改選）、平成 25 年度学会賞選考審議、定例報告

平成 26 年 5 月 27（火）理事 15 名 監事他 3 名

場所：化学会館 501A 会議室

内容：平成 26 年度会長・副会長・常任理事の選出、常置委員長・その委員会委員長の選出

平成 26 年 7 月 29 日（火）理事 13 名 監事他 4 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：定例報告の他、学会課題を議論

平成 26 年 11 月 21 日（金）理事 12 名 監事他 3 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：上期会計報告、定例報告、学会課題議論

平成 27 年 3 月 4 日（水）理事 14 名 監事他 2 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：平成 26 年度活動状況、収支見通し、平成 27 年度活動計画及び活動予算審議、定例報告他

(3) 常任理事会(1 回)

平成 25 年 8 月 12 日(火) 常任理事 6 名、理事 1 名、事務他 1 名

場所：アロマビル 701 会議室

内容：学会検討課題議論

(4) 委員会

①評議員会

平成 26 年 5 月 27 日（火） 実施 出席者 8 名

②監事会

平成 26 年 5 月 2 日（金） 実施

③企画委員会

3 回実施

(5) 現場研修会

①開催日：平成 26 年 9 月 19 日（金）

開催場所：独立行政法人海上技術研究所

内容：該研究所の研究設備（深海水槽、操船シミュレータ等）見学

参加者：9 名

②開催日：平成 27 年 3 月 12 日（木）

開催場所：公益財団法人 鉄道総合技術研究所

参加者：12 人

内容：該研究所の研究設備（車両試験台、振動・降雨試験装置・各種シミュレータ等）の見学

以上